科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 2 9 日現在

機関番号: 32621

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2017~2019

課題番号: 17H02410

研究課題名(和文)先端光学機器によるオスティア・アンティカ遺跡・遺物の文字情報調査

研究課題名(英文) Investigating literal information from the remains and relics of Ostia Antica applying new technologies for optical 3D shape acquisition

研究代表者

豊田 浩志 (Toyota, Koji)

上智大学・文学部・教授

研究者番号:20112162

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文): 今回は、オスティア遺跡管理事務所のほうから提案された「人工衛星やドローンによる高・中高度の撮影による遺跡の新発見」と「考古学遺物(特に貨幣・土器)の本格的調査」を主目的にしていたが、実際に動き出して想定外の壁に阻まれ変更を余儀なくされたことは遺憾であった。すなわち、遺跡が軍事施設に隣接していて結果的に許可が得れなかったこと、遺物の発掘者所有権限が複雑で具体的調査に入れなかったこと、である。

ったこと、である。 とはいえ、従来の3Dスキャン実測や赤外線撮影、落書き調査は順調に進展したし、方向転換しての展示彫像群の3Dデジタル撮影、事務所秘蔵の遺跡航空写真の非公式開示など、新たな成果を得ることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

が元成果の子桁的思義で任会的思報 海外調査は、現地の調査機関との円満な関係構築が必須であるが、本科研においては当初から現地遺跡管理事務所に極めて友好的な対応で受け入れられ、多くの便宜を与えられた。そして、とりわけ堀教授指導の3Dスキャンによる遺跡の精密測量の成果は、現地においても高く評価され、こうして学術的意義は、数度にわたる国際シンポジウムの継続開催で十分果たしてきたつもりである。その成果の一部は「学術図書」で公刊することも許された。

また社会的意義についても、研究成果を順次インターネットのホームページに、多数の写真・図版とともにアップしてきたので、興味関心を持つ一般の人たちの目にも容易に触れることができたと信じる。

研究成果の概要(英文): We have set our objective for this year to be the Discovery of New Remains Utilizing Medium to High Altitude Photography with Drones and Satellites and the Thorough Analysis of Archaeological Artifacts (Especially Coins and Potteries), owing to the suggestion proposed by Soprintendenza di Ostia.

Unfortunately, unforeseen obstacles forced to alter our goals after the project started. Namely, these were the failure to obtain research permit due to the site's proximity to military facilities, and the complexity of the legal rights pertaining to archaeological materials which prevented us from directly analyzing them. Nonetheless, our continuing 3D scanning survey, infrared photography and graffiti analysis proceeded well. Furthermore, we were able to gain new results with the 3D digital imaging of displayed statues, as well as the browsing of the site's aerial photographs which hitherto have been kept by the site administration.

研究分野: 西洋古代史

キーワード: オスティア・アンティ遺跡 3 Dレザースキャニング 落書き 遺跡・遺物調査 港町 ポンペイ エルコラーノ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

1. 研究開始当初の背景

これまでの現地調査は、3D測量(堀)や、遺跡・遺物との関わりを持ちつつ主として文字情報の痕跡調査(坂口、池口、西山、豊田)を主体として実施してきて、それなりに見るべき成果を挙げてきた。今回の科研において最大の狙いは、新メンバーを加え、彼らが現地遺跡管理事務所と接触して、どの程度研究対象の発掘遺物調査が可能か、という点にあった。

これまでの現地調査は、堀グループを含め、表面調査が主体の研究であったので、調査データ提出を交換条件として、非公開の遺跡の見学調査許可を得ればよかった面があり、そのレベルである限り、現地管理事務所との交渉はきわめてスムーズであった。新メンバーはそこから一歩踏み込んで考古学分野、具体的には貨幣(江添)・土器(鷲田)といった出土資料上の文字調査調査に関わるので、それらを保存管理している現地事務所とそれらの発掘調査にかかわった現地研究者がどこまで出土資料の調査に協力してくれるか、といった微妙な問題に直面せざるをえないわけである。考古学の世界では、発掘者に第一次調査・公表権が生涯付帯している場合が多く、そのため未発表出土品に関しては(出土資料の大部分は未発表が現実)、たとえ調査させてもらえても公表することができない、悪くすると、そもそも見せてもらえないのが常識といわれている。

またもう一つの新機軸で、中高度からドローンを利用して遺跡撮影も試みる予定なので(渡部)、遺跡現場が空港に近いこともあり、どこまで可能かを探る必要があった。これに関しても、事前打ち合わせで現地管理事務所が強い興味を示してくれたので、条件さえ整えば前向きに検討可能な感触を確認することができた。

従来メンバーは、関連地区を含む現地調査で、3D測量(堀)や、文字情報の痕跡調査(坂口、池口、西山)、さらには洗濯場調査(豊田)に従事する。研究協力者の奥山も落書き調査に励み、多くの成果を得ることができた。

2.研究の目的

古代ローマ史研究において、首都ローマの外港としてきわめて重要な位置を占めていたオスティア・アンティカ遺跡を、複合的に調査することで、 比類なき港湾都市の実態に迫ろうとすることである。

3. 研究の方法

1で述べたように、

レザーの3D測量で遺跡全域の精密測量を実施し、

同時に、バルーンを利用しての中高度、衛星画像を活用しての高高度 画像を撮ることで、地下埋没していて未発見の埋蔵遺跡調査(とりわけテヴェレ川右岸)を期す。

同時に、出土遺物の貨幣と土器上に記された文字情報と、壁面に残さ

れている落書きの悉皆調査を実施し、この町に出入りしていた人々の歴史実態を探る。

4. 研究成果

【一般報告】

上記3に挙げた ~③のうち、従来の研究分野である①と③の後半は順調 **に調査結果を得ることができた。**

しかし、 と の前半については、当初の打ち合わせでは楽観的だった現地遺跡保存事務所の反応が、いざ具体的な相談を始めてみると、まずドローン使用は、隣接するレオナルド・ダ・ヴィンチ空港とそれに付属する軍事施設の関係で、許可できないとの通告を受けることとなった。

第二に出土遺物の調査研究であるが、これは事前に予想されたことではあったが、はやり発掘者の複雑な権利関係をクリアするには今回では時間切れとなり、実質不可能となった。但し、管理事務所の担当研究者各位には丁寧に対応していただけたことを感謝している。20世紀初頭以来の発掘という来歴があるので、権利保有者である発掘者たちと連絡とることすら、実際には大きな壁であったのである。今後の教訓として、悉皆調査は諦め、ターゲットを絞り、時間をかけさえすれば、調査研究は可能であろう。実際には、江添、鷲田ともに調査方向を、オスティア博物館内所蔵彫像の3D化作業、オスティア近隣のラ・ロンガリーナ港の調査に転じて、それなりに有意義な成果をえることができた。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件(うち査読付論文 14件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 6件)

[雑誌論文] 計22件(うち査読付論文 14件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 6件)	
1 . 著者名 坂口 明	4.巻 99
2.論文標題ポンペイの組合	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
史叢	1-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ogawa, T., and Y. Hori	42.2/W9
2 . 論文標題	5.発行年
Comparison with Accuracy of Terrestrial Laser Scanner by Using Point Cloud Aligned with Shape Matching and best Fit ting Methods	2019年
3.雑誌名 International Archives of the Photogrammetry, Remote Se nsing and Spatial Information	6.最初と最後の頁 535-541
Sciencesnformation Sciences	535-541
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
江添一誠	54-2
2.論文標題	5.発行年
考古資料からみる第一次ユダヤ戦争のガリラヤ攻防における戦闘状況	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
軍事史学	38-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
豊田浩志	54-2
2.論文標題	5 . 発行年
特集にあたって、312年のコンスタンティヌス軍	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
軍事史学	7-13, 99-118
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

│ 1.著者名	4 . 巻
奥山広規	44
XIII/M	
0 A0	= 7V./= h=
2.論文標題	5.発行年
│ 史料紹介 オスティア・グラフィッティ	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
西洋史学報	111-126
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
コンプラと人ではなく 人はコンプランと人が出来	
	[. w
1.著者名	4.巻
豊田 浩志	_
2 54 中福昭	c
2.論文標題	5.発行年
西洋古代史からの期待	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3・####ロ 日本建築学会建築歴史・意匠部門研究協議会資料	
ロや建栄子云建栄歴史・息匠部门研光励議会資料	62
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4 U	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
1.著者名	4.巻
監修・資料提供:堀賀貴・豊田浩志	5月号
2.論文標題	5.発行年
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題 最強!トイレ伝説第2回	5.発行年 2017年
最強!トイレ伝説第2回	2017年
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名	
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
最強!トイレ伝説第2回	2017年
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
最強!トイレ伝説第2回 3 . 雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』)	2017年 6 . 最初と最後の頁 12-13
最強! トイレ伝説第2回 3 . 雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無
最強!トイレ伝説第2回 3 . 雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』)	2017年 6 . 最初と最後の頁 12-13
最強! トイレ伝説第2回 3 . 雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 -
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 -
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 - 査読の有無 - 無 - 国際共著 - 4.巻 54-2 - 5.発行年 2018年 - 6.最初と最後の頁
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題 312年のコンスタンティヌス軍	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 - 査読の有無 - 無 - 国際共著 - 4.巻 54-2 - 5.発行年 2018年 - 6.最初と最後の頁
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 - 査読の有無 - 無 - 国際共著 - 4.巻 54-2 - 5.発行年 2018年 - 6.最初と最後の頁
最強! トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題 312年のコンスタンティヌス軍 3.雑誌名 軍事史学	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54.2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118 査読の有無
最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題312年のコンスタンティヌス軍 3.雑誌名軍事史学	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54.2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118 査読の有無 有
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118 査読の有無
 最強!トイレ伝説第2回 3.雑誌名 『わくわく発見BOOK』(『チャレンジ4年生』) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスが困難 1.著者名 豊田 浩志 2.論文標題	2017年 6.最初と最後の頁 12-13 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 54-2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 99-118 査読の有無 有

		1
2.	1.著者名	4 . 巻
国工能大学イラク古代文化研究所展示室の活動報告(2019年度) 3 . 雑誌名 次化選摩研究 6 . 最初と最後の頁 39-46 7 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 素者名 江原 第	江添 誠	13
国工能大学イラク古代文化研究所展示室の活動報告(2019年度) 3 . 雑誌名 次化選摩研究 6 . 最初と最後の頁 39-46 7 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 素者名 江原 第		
国工能大学イラク古代文化研究所展示室の活動報告(2019年度) 3 . 雑誌名 次化選摩研究 6 . 最初と最後の頁 39-46 7 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 素者名 江原 第	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 ・ 制誌名 文化遺産学研究		
X		2020 1
X	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
機動論文の001(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 服装者 1 1 著名名 1 1	义化退胜子研允	39-46
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 服装者 1 1 著名名 1 1		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 服装者 1 1 著名名 1 1		* * * * * * # # # # # # # # # # # # #
1 著名名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難	なし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難		
1 . 著名名 江添 誠 2 . 論文標題 5 . 発行年 2018年 2018年 21・27 ※ 化適産学研究 21・27 21・27 を は		国際共著
江港 誠 11 2 . 論文標題 ガダラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 5 . 飛行年 2018年 3 . 雑誌名 なし 6 . 最初と最後の頁 21:27 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第22章 第736号 2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 111 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童読の有無 有 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第62章 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンペイ・都市機能研究 IV 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 日際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
江港 誠 11 2 . 論文標題 ガダラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 5 . 飛行年 2018年 3 . 雑誌名 なし 6 . 最初と最後の頁 21:27 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第22章 第736号 2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 111 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童読の有無 有 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第62章 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンペイ・都市機能研究 IV 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 日際共著		•
江港 誠 11 2 . 論文標題 ガダラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 5 . 飛行年 2018年 3 . 雑誌名 なし 6 . 最初と最後の頁 21:27 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第22章 第736号 2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 111 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童読の有無 有 1 . 著名名 相 質費 4 . 差 第62章 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンペイ・都市機能研究 IV 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 5 . 飛行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 掲載論案のDDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 最初と最後の再 3031-3040 日際共著	1. 著者名	4 . 巻
2 ・ 論文標題 カグラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 5 ・ 飛行年 2018年 2018年 2018年 2018年 2018年 3 ・ 雑誌名 21・27		
ガダラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 21・27 査誘の有無 なし 有 オープンアクセス 面際共著 ・ カープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 第02章 第736号 5 . 発行年 2 . 論文標題 4 . 巻 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 5 . 発行年 111 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 指数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 カープンアクセス 1 . 巻 第26 第741号 2017年 3 . 雑誌名 4 . 巻 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 4 . 一プンアクセス 面際共著	△丁/次// 野館	11
ガダラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 21・27 査誘の有無 なし 有 オープンアクセス 面際共著 ・ カープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 第02章 第736号 5 . 発行年 2 . 論文標題 4 . 巻 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 5 . 発行年 111 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 指数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 カープンアクセス 1 . 巻 第26 第741号 2017年 3 . 雑誌名 4 . 巻 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 4 . 一プンアクセス 面際共著	2 生命 计每 65	F 整仁左
3 ・雑誌名 文化遺産学研究 6 ・最初と最後の頁 21・27 超際共著 カーブンアクセス カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著者名 塩 賀貴 2 ・論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析:オスティア・ローマ都市研究 111 3 ・雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 ・最初と自様の頁 1609・1618 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著者名 塩 賀貴 2 ・論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析:オスティア・ローマ都市研究 11609・1618 1 ・ 最続の有無 有 オープンアクセス カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著者名 塩 賀貴 2 ・論文標題 ボンベイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンベイ・都市機能研究 IV 3 ・雑誌名 日本建築学会計画系論文集 4 ・差 第202章 第741号 2 ・記文標題 ボンベイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンベイ・都市機能研究 IV 3 ・雑誌名 日本建築学会計画系論文集 4 ・差 第3031・3040 国際共著 6 ・最初と最後の頁 3031・3040 国際共著		
Yuman	カタラで造幣されたコインにみるフェニキアの影響	2018年
Yuman		
Yuman	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 場質費 2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 111 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	文化遺産学研究	
なし 有		
なし 有		
なし 有	退載絵文のDOI(デジタルオブジェクト禁助之)	本語の右無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 場 質費 2. 論文標題		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 著者名 現 賀貴	なU	1月
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 著者名 現 賀貴		
1. 著書名 4 . 巻 第82巻 第736号 2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 III 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著書名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ボンペイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		国際共者
知 賀貴 第82巻 第736号 2. 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析:オスティア・ローマ都市研究 III 3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
知 賀貴 第82巻 第736号 2. 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析:オスティア・ローマ都市研究 III 3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集		
知 賀貴 第82巻 第736号 2. 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析:オスティア・ローマ都市研究 III 3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 111 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 6 . 最初と最後の頁 1609-1618		
オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 III 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ボンベイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンベイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	78 92 92	3302 B 33100 J
オスティアにおける共和政期の地盤面と帝政期の街路面の地 形学的分析: オスティア・ローマ都市研究 III 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ボンベイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンベイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	2 - 44 14	F 発仁左
III 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 日本建築学会計画系論文集 1609-1618 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名堀 質貴 4.巻 第82巻 第741号 2.論文標題ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 5.発行年2017年 3.雑誌名日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁3031-3040 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 1609-1618 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ボンベイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		2017年
日本建築学会計画系論文集 1609-1618		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 堀 賀貴 4.巻 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 5.発行年 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著	日本建築学会計画系論文集	1609-1618
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 堀 賀貴 4.巻 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 5.発行年 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 堀 賀貴 4.巻 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 5.発行年 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 堀 賀貴 4.巻 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 5.発行年 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ボンペイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ボンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
1 . 著者名 堀 賀貴 4 . 巻 第82巻 第741号 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし	有
 堀 賀貴 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有 オープンアクセス 国際共著 	オープンアクセス	有
 堀 賀貴 第82巻 第741号 2.論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有 オープンアクセス 国際共著 	オープンアクセス	有
2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV 2017年 3.雑誌名 日本建築学会計画系論文集 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 3031-3040 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴	有 国際共著 - 4.巻 第82巻 第741号
日本建築学会計画系論文集 3031-3040 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 第82巻 第741号 5.発行年
日本建築学会計画系論文集 3031-3040 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 第82巻 第741号 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 IV	有 国際共著 - 4.巻 第82巻 第741号 5.発行年 2017年
なし 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 Ⅳ 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 Ⅳ 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 Ⅳ 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2):ポンペイ・都市機能研究 Ⅳ 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 査読の有無
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 査読の有無
	 なし オープンアクセス 1 . 著書名 堀 賀貴 2 . 論文標題 ポンペイにおける荷車交通規制に関する考察(2): ポンペイ・都市機能研究 IV 3 . 雑誌名 日本建築学会計画系論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 査読の有無 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 第82巻 第741号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 3031-3040 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
堀 賀貴	
-	
2. 50 45 福昭	r 整仁左
2.論文標題	5.発行年
古代ローマ遺跡の現場から	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本建築学会建築歴史・意匠部門研究協議会資料	67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<i>(</i> 40	ж.
	Company of the second of the s
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u></u>
4	1 A #
1. 著者名	4 . 巻
池口 守	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
古代ローマ経済・環境史の立場から	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本建築学会建築歴史・意匠部門研究協議会資料	35
口坐烂来子云烂来座文,思红即门听九励誐云具杯	ან
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4 .∪	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
4 *************************************	4 44
1. 著者名	4 . 巻
池口 守	268
2.論文標題	5.発行年
·····	
動物考古学史料の活用:古代ローマ史を中心に	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
西洋史学	88-100
四件丈子	00-100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
' & ∪	[H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
	1
4 *************************************	
1. 著者名	4 . 巻
池口 守	36
2.論文標題	5.発行年
ローマ機ティレニア海沿岸の港湾インフラの発達と会場輸送費の低下	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
久留米大学文学部紀要(国際文化学科編)	88-100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名	4 . 巻
奥山 広規	45
2.論文標題	5.発行年
2017年度オスティア・アンティカ遺跡グラフィッティ調査報告	2019年
2017年反グスティア・アフティの短脚アフライッティ副旦報ロ	20194
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
西洋史学報	79-102
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
4U	(Fig. 1)
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 *****	1 a 44
1 . 著者名	4 . 巻
奥山 広規	46
2.論文標題	5.発行年
2018年度オスティア・アンティカ遺跡グラフィッティ調査報告	2019年
	·
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
西洋史学報	79-104
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
な し	無
+ 1\17/1+7	〒1007 + 1-25
オープンアクセス オーゴンマクセフでけない 又はオーゴンマクセフが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
奥山 広規	305
2 . 論文標題	5.発行年
古代末期ティールの墓地と社会:アル=バース・ネクロポリスの分析から	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
史学研究	51-67
★ナWI/L	31-07
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
. ***	
1. 著者名	4 . 巻
Watanabe, N.,	
2.論文標題	5 . 発行年
Utilization of Satellite Remote Sensing in Ostia Antica	2019年
ottinzation of outoffitto nomete consting in cotta Alltica	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Report of the Investigation of Ostia Antica in 2018-2019	49-65
•	
児載論文のDOI(デジタルオブジェクト禁則スヽ	企=i/0.6 ##
	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	(登読の有無) 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	

〔学会発表〕 計16件(うち招待講演 0件/うち国際学会 6件)
1.発表者名 Ogawa,T.,and Hori,Y.
2 . 発表標題 ARCHAEOLOGY WITHOUT EXCAVATION?: LASER SCANNING IN OSTIA
3 . 学会等名 24th EAA Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 坂口明,堀賀貴,江添誠,奥山広規,渡部展也,池口守,志内一興
2 . 発表標題 「見えざる人びと」の探し方:庶民史構築のために
3 . 学会等名 第68回日本西洋史学会大会小シンポジウム(広島大学)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志2.発表標題
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志2.発表標題2018年度オスティア・グラフィッティ調査成果報告3.学会等名
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志 2.発表標題 2018年度オスティア・グラフィッティ調査成果報告 3.学会等名 第17回古代史研究会大会(京都大学) 4.発表年
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志 2.発表標題 2018年度オスティア・グラフィッティ調査成果報告 3.学会等名 第17回古代史研究会大会(京都大学) 4.発表年 2018年 1.発表者名
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志 2. 発表標題 2018年度オスティア・グラフィッティ調査成果報告 3. 学会等名 第17回古代史研究会大会(京都大学) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 0kuyama,H., Gale,E., Toyota,K. 2. 発表標題
奥山広規,ゲイル・エドワード,豊田浩志 2. 発表標題 2018年度オスティア・グラフィッティ調査成果報告 3. 学会等名 第17回古代史研究会大会(京都大学) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Okuyama,H., Gale,E., Toyota,K. 2. 発表標題 The Graffiti Survey Report at Ostia Antica in 2017 and 2018 3. 学会等名

1 . 発表者名
de Grossi Mazzorini, Ikeguchi M.,Minniti,C.
2. 発表標題
Animal Use and Consumption in Roman Italy*New Zooarchaeological Evidence from the so-called"Porta Capua",Pompeii
2
3.学会等名
The Roman Discussion Forum(Oxford)(国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
Ikeguchi, M.,
고 장후····································
2.発表標題
Mediterranean Transport and Italian Agriculture
2
3.学会等名
Ancient History Seminar(Cambridge)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
Hori, Y.
2.発表標題
Urbanization and Floods in Ostia
3.学会等名
3rd International Colloquia"Risk Management in Ancient Rome"(Kyoto)(国際学会)
/ X主体
4 . 発表年 2019年
2UI3+
4 改主业权
1.発表者名
鷲田睦朗
2.発表標題
4. 光仪伝送 サ利政期オフニノアのよう4つの洪・ラ・ロンガリーナ!。 angaring
共和政期オスティアのもう1つの港:ラ・ロンガリーナLa Longarina
3.学会等名
1. 1. 主方共宜
属州研究会(同志社大学)
属州研究会(同志社大学)
属州研究会(同志社大学) 4.発表年
属州研究会(同志社大学)
属州研究会(同志社大学) 4.発表年

1.発表者名
鷲田睦朗
2.発表標題
ローマ共和政後期における地方在住者の政治参加
3.学会等名
第69回日本西洋古典学会大会(名古屋大学)
2018年
1. 発表者名
豊田浩志
2 . 発表標題
戦勝顕彰碑としてのコンスタンティヌスのアーチ門
3.学会等名
第68回日本西洋史学会大会小シンポジウム(広島大学)
4 . 発表年 2018年
2018年
1.発表者名
豊田浩志
コンスタンティヌス帝の保護神格再考:Apollo、Sol、それともGrannus?
3・テムサロ 広島史学研究会大会西洋史部会
4.発表年
2018年
1
1.発表者名 坂口明、堀賀貴、渡部展也、江添誠、奥山広規
75日713、7回吴吴、IX即区5、7工/小岬。 天山127元
2 . 発表標題 「見えざる人びと」の探し方:庶民史構築のために
元んじる八ぴと」の环ひ刀・瓜氏乂伸来の心めに
- W.A. blocker
3.学会等名
第68回日本西洋史学会大会小シンポジウム
2018年

1.発表者名 豊田浩志	
2 . 発表標題 戦勝顕彰碑としてのコンスタンティヌスのアーチ門	
3 . 学会等名 第68回日本西洋史学会大会古代史部会	
4 . 発表年 2018年	
1.発表者名 奧山 広規	
2 . 発表標題 オスティア・グラフィッティ研究の現状と課題	
3 . 学会等名 2017年度広島西洋史学研究会大会	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名 鷲田 睦朗	
2 . 発表標題 共和政期における中小規模自由農民	
3.学会等名 西洋史古代史サマーセミナー(東京)	
4 . 発表年 2019年	
〔図書〕 計2件 1.著者名	4.発行年
」. 者有名 上智大学文学部史学科編(豊田浩志)	4 . 飛行年 2019年
2.出版社	5 . 総ページ数
2 . 山放社 ぎょうせい	358(217-235)
3 . 書名 歴史家の調弦(「人間アウグスティヌスを『告白』から探る」)	

1.著者名 金澤周作監修(池口守)	4 . 発行年 2020年
2.出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 321(46-47)
3 . 書名 論点・西洋史学(「古代経済史論争」)	

〔産業財産権〕

【その他】 残照の古代ローマ:豊田浩志 http://www.koji007.tokyo/ 九州大学建築史研究室:堀賀貴 http://history.arch.kyushu-u.ac.jp/HAU/labo/ 西洋古代史の部屋:豊田浩志 http://pweb.sophia.ac.jp/k-toyota/ 九州大学建築史研究室:堀賀貴 http://history.arch.kyushu-u.ac.jp/HAU/labo/

研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	西山 要一	奈良大学・その他部局等・名誉教授	
研究分担者	(Nishiyama Yoichi)		
	(00090936)	(34603)	
	渡部 展也	中部大学・人文学部・准教授	
研究分担者	(Watanabe Nobuya)		
	(10365497)	(33910)	
研究分担者	堀 賀貴 (Hori Yoshiki)	九州大学・人間環境学研究院・教授	
	(20294655)	(17102)	

6.研究組織(つづき)

O	. 研究組織 (つつき)		
	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	池口 守	久留米大学・文学部・准教授	
研究分担者	(Ikeguchi Mamoru)		
	(20469399)	(37104)	
	鷲田 睦朗	神戸市外国語大学・外国学研究所・非常勤講師	
研究分担者	(Washida Mutsuro)		
	(20804628)	(24501)	
-	江添 誠	神奈川大学・外国語学部・講師	
研究分担者	(Ezoe Makoto)		
	(80610287)	(32702)	
—	坂口明	日本大学・文理学部・教授	
研究分担者	(Sakaguchi Akira)		
1	(10153876)	(32665)	
	奥山 広規	広島商船高等専門学校・一般教養・非常勤講師	
研究協力者		(55402)	
		(00102)	